



世帯数	5,907 戸
人口	14,492 人
(平成 28.1.1 現在)	

第 38 回

寿地区文化祭

11 月文化の日にちなみ、寿地区文化祭が 7 日と 8 日に開催されました。

この文化祭は「ことぶきのわ」のもと、夏頃から各部署実行委員の打ち合わせが進められてきました。

寿地区文化祭は、7 日は作品展、福祉の文化祭、8 日はステージ発表、各ブースの展示及び販売の日程で行われました。



りました。ステージ発表もファイナーレの時間を迎え、全員で「ふるさと」を合唱し来年度の文化祭にみなさんとの再会を願いました。

願い無事終了となりました。今後も「ことぶきのわ」を



のクオリティの高い作品ばかりで、寿地区に誇りがたく感じました。また、こんなこともありましたが、声かけられ、



合言葉に文化祭を開催してゆきたいと思えます。(館報編集委員・文化祭実行委員 鈴木喜朗)



作品展示について 作品展示コーナーでは、木工品、写真、水墨画、生け花、手芸品、盆栽、史跡巡りマップなど、さまざま

な作品を出品していただきました。私は、作品を見守る役を任されていたので、作品を隅々まで拝見することができました。どの作品も、プロ顔負け

スタッフへの感謝 今年の文化祭は雨にもかかわらず四千人以上の来場者があり大成した。年々来場者が増えている要因は文化祭を支えている多くのスタッフの思いがひとつとなった結果だと思

わらず、開催場所の体育館には、大勢の観客の中盛大に開始されました。オープニング終了後、プログラムに沿って寿小学校金管バンド、筑摩野中学校吹奏楽部をはじめ、各団体、サークルの発表が次々と行われ、観客も盛大な拍手を送っていました。

各発表チームとも日頃の練習成果を見せようという熱意のこもったステージ発表とな



スタッフへの感謝 今年の文化祭は雨にもかかわらず四千人以上の来場者があり大成した。年々来場者が増えている要因は文化祭を支えている多くのスタッフの思いがひとつとなった結果だと思

特に体育館でのステージ発表は最高でした。スタッフと発表者の息が合っていて、見ている人を感動させていました。本当にどの作品も素晴らしいと思いました。そして、来場者がステージ発表者に真剣に拍手を送っているのを見たとき、拍手はスタッフにも送られているのだと思いました。(館報編集委員 菅田 金幸)



わがまちこの人

『海外旅は語学と伴に』

奥村 二三雄さん

若い時代から今まで、好きなスペイン・イタリアを一人で旅をした。食べる、動く、寝る。言葉でコミュニケーションが取れると一人旅を楽しめる。



『バレンシアでの思い出』

一番の思い出は40代前半にスペイン国内のバレンシア市にて、一カ月間に亘るスペイン語学校での出会い。地中海海岸近くにイギリス人、スウェーデン人、ノルウェー人、それに私で秋の海に出かけた。バレンシアは10月頃まで泳げる。

スペイン語で通じないときは英語での会話になる。一カ月間は日本語を使わず、食事もスペイン料理。日本料理が恋しくなると近くの中華料理屋へ出かけスープや春巻きで日本を想う。『スペイン語が役に立つ』

海外への旅でスペイン以外のイタリア、メキシコ、ポルトガルを旅したとき、スペイン語が役立つ。隣国のポルトガル語はスペイン語に似ていて、方言であるガルシア語に近い。

『生活の言葉から始めよ』

ラテン系の言葉は近い関係の、イタリア、フランスにも似た言葉は多い。例えば、コーヒーの種類でカフェ、コン、レイチエはスペイン語。カフェオレはイタリア語。カフェオレはフランス語である。

『ラテン音楽の楽しさ』

旅の楽しみの中で旅先の各地の踊りや音楽の楽しさがある。スペイン国内ではセビリア、グラナダ、マドリッド、バルセロナでフラメンコを見た。

メキシコの旅ではカリブ海地域各国、キューバ、ジャマイカ、ベネズエラの劇場で民族舞踊と音楽を楽しんだ。スペイン、イタリアを何度も旅して、旅は語学と伴に行く友人が出来る、誰とも会話が出来ると楽しい一人旅になる。

竹瀬新公民館 上棟式

8月7日(金) 竹瀬新公民館の上棟式が多数の住民参加のもと行われました。

旧公民館の老朽化と耐震性に問題ありとの耐震診断の結果を踏まえての新公民館着工となりました。10時から始まった式には、町会の役員のほか建設会社、設計会社の皆さんが参列しました。諏訪社の神主さんによる厳かな祝詞のあと、槌打ちの儀が執り行われ、工事の安全を祈願しました。



今井町会長のあいさつでは、「運動広場、公民館、公民館前の駐車スペースとあわせて、竹瀬新公民館の規模は、市内の他の町内公民館と比較しても類を見ないものとなっている。公民館活動の場としてばかりでなく、防災拠点としても大いに期待している。」とのことでした。

あいさつに引き続き、地域から寿小学校、並柳小学校に通う5・6年生が仮設の舞台



からもち投げを行い、上棟式を祝いました。(館報編集委員 上平 貴明)

竹瀬新公民館 落成記念音楽会

平成27年5月から建設工事が行われてきた、竹瀬新公民館が10月28日落成し、12月23日、落成記念音楽会が行われました。

町会長のあいさつに続き、地域の小学生による「浦安の舞」が奉納されました。

浦安の舞は、昭和15年紀元2600年を記念して作られた、全国一斉に奉納されたもので、心やすらかに平和を祈る舞とのことでした。

浦安の舞に続き、スペシャルステージとして、県内外で活躍中の太田麻衣さん(バイオリン)、丸山貴葉さん(フ

ルート)、井垣里沙さん(ピアノ)をお招きして記念音楽会が行われました。

10数曲を休憩を挟みながら、ソロや三重奏で演奏さる者一同、生演奏を聴く機会もないことから、大変感動しました。



新築の公民館が、広く町会活動に利用され、また、地域の防災拠点としての役割の機能も果たされることを期待いたします。(館報編集委員 上平 貴明)

新公民館の概要

敷地面積	約 1756 m ² (現竹瀬運動公園西隣接地)
建築面積	約 400 m ²
建屋構造	平屋建
特徴	耐震、耐水害(床高)等耐災害建築、災害時等退避場所、バリアフリー化、児童室等子育て層に配慮
設計	林建築設計室
建設	松本土建